

國學院大學学術情報リポジトリ

伝・芭蕉翁詠句に対する伝承文学的考察：
「芭蕉翁伝承句」碑を基にして

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2023-02-13 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 玉水, 洋匡, Tamamizu, Hirotada メールアドレス: 所属:
URL	https://k-rain.repo.nii.ac.jp/records/2518

論 文 要 旨

学籍番号	203209	氏 名	玉水 洋匡
論文題目： 伝・芭蕉翁詠句に対する伝承文学的考察―「芭蕉翁伝承句」碑を基にして―			
(内容の要旨) 本論文は松尾芭蕉が詠んだ句にまつわる伝承を「伝・芭蕉翁詠句」とし、そのうち芭蕉が詠んだと伝えられている句を芭蕉の「伝承句」ととらえ、それぞれの地域でどのように伝承されているのか明らかにしたものである。 芭蕉の「伝承句」は三つに大別することができる。①句碑にも文献にも芭蕉詠句と記載されているが、確定されていない「存疑句」。②句碑にも文献にも芭蕉詠句と記載されているが、別人が詠んだとする文献も残されている「別伝句」。③句碑には芭蕉詠句と記載されているが、文献上は一切記録が残されていない「不明句」である。 芭蕉の「伝承句」に関する先行研究は、伊藤龍平の『近世の俳諧説話』等があるが、「伝承句」の一部が取り上げられているに過ぎない。また「伝承句」の考察をしていたとしても、「伝承句」が受け継がれている地域を切り離してしまっており、各地域における伝承には目を向けていない。また松尾芭蕉の句碑に関する先行研究は、カタログ化が目的であり、それぞれの句碑にまつわる伝承までは触れていない。伝承句と句碑をつなぐような研究はこれまで行なわれていなかった。そこで「伝承句」句碑に注目し、その地域における芭蕉の「伝承句」句碑にまつわる伝承を対象とし、考察した。 調査は芭蕉の「伝承句」を刻んだ句碑が現存する地域を対象として、文献調査と現地調査を行なった。調査の結果、それぞれに異なる伝承の状況が存在することが明らかとなった。芭蕉の「伝承句」には、各地域における俳人集団である「社」や「連」（例えば滋賀県蒲生郡日野町では日野連）が関わっている。俳人集団は蕉風俳諧を継承するだけでなく、芭蕉の「伝承句」にまつわる伝承を生み出し、受け継ぐ役割を担っていたのである。さらに各地をまたぐように、芭蕉の「伝承句」が伝播される背景には、蕉風俳諧の宗匠の存在がある。蕉風俳諧を受け継ぐ宗匠が各地域を訪れることで、芭蕉の「伝承句」をも伝播した。芭蕉の「伝承句」はやがて俳人集団だけではなく、地域の人々にも広がり、句碑建立を通して各地域に定着した。 本研究を通して「伝承」の新たな概念を提起できると考えている。俳人集団は俳諧という共通の趣味で形成された集団である。また松尾芭蕉の後継であるという帰属意識を有した集団でもある。さらに一定の経済力を有する限定的な集団でもある。これはこれまで民俗学が想定していない、「伝承」の概念の拡張であると考ええる。			
キーワード (5 語) 松尾芭蕉／伝承句／句碑／俳人集団／宗匠			